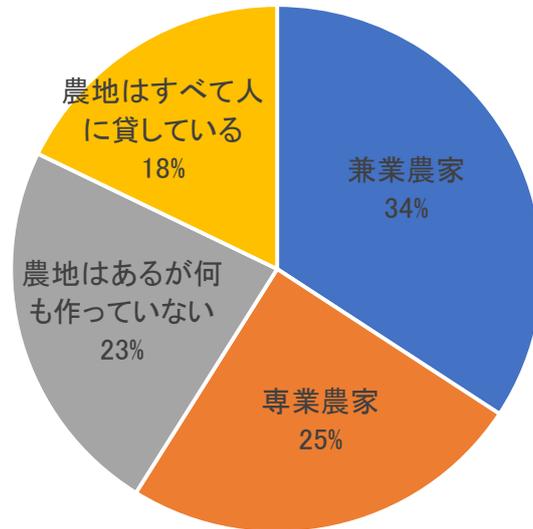


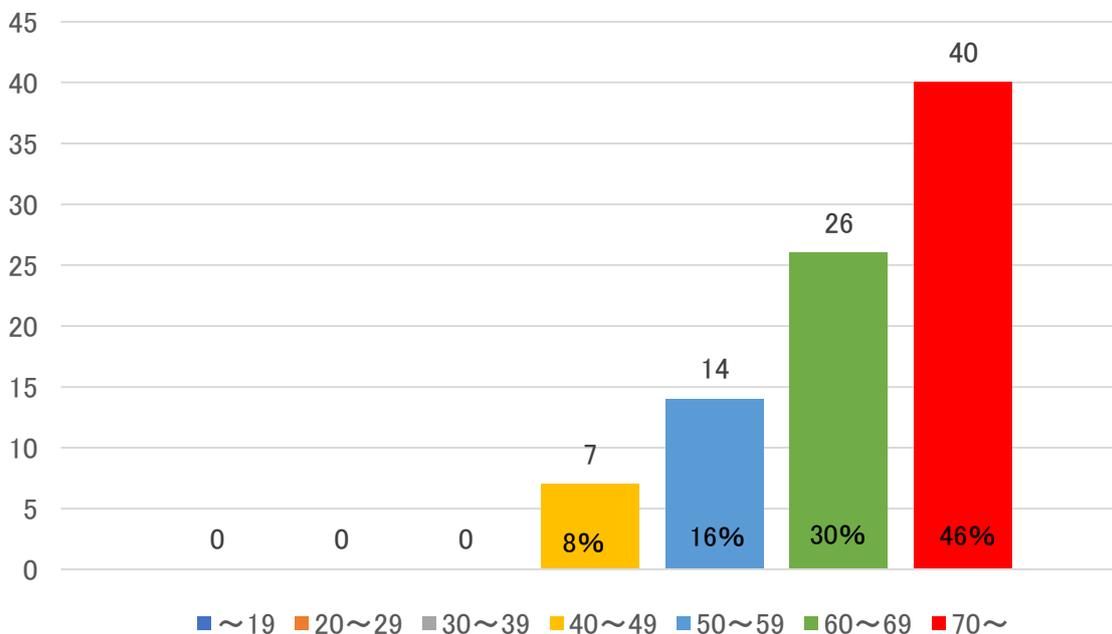
## 地域農業の将来に関するアンケート結果<金瓶地区>

対象者総数 91 回答者数 73 回答率 80.2%

(1) あなたの農業形態を教えてください。



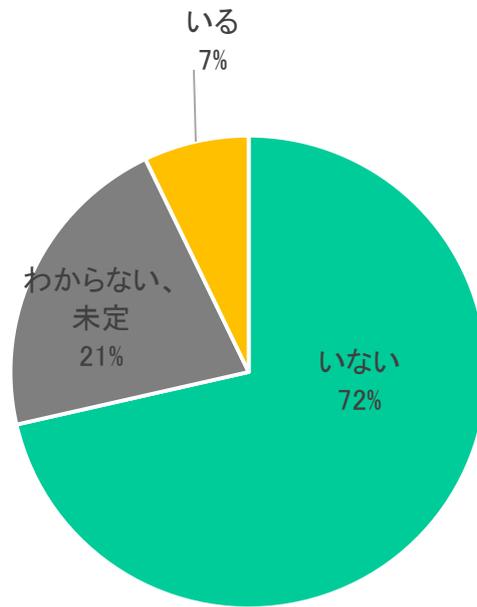
経営者年齢分布図(単位:人)



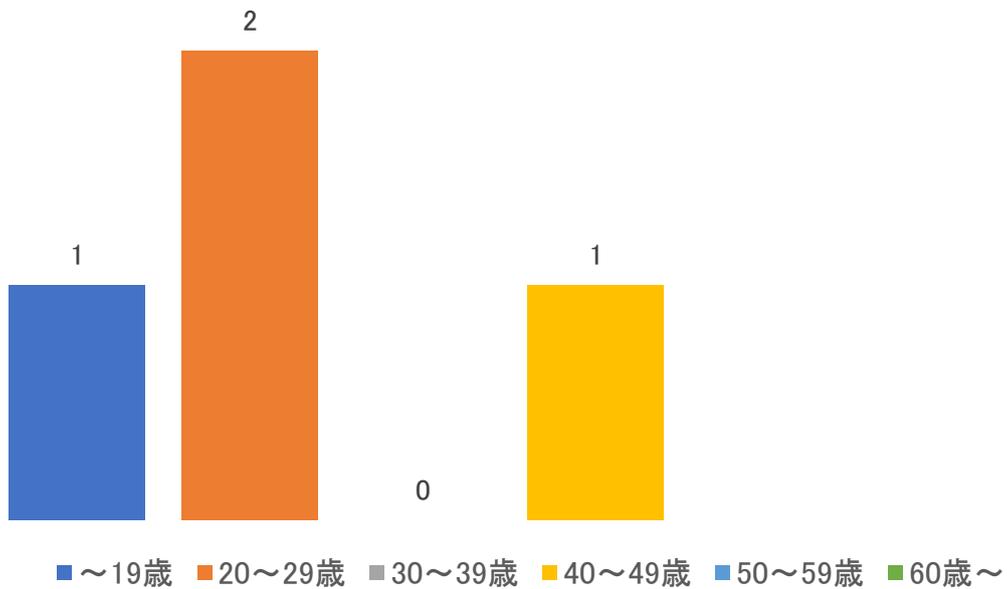
※経営者年齢は農家台帳システムおよびアンケート回答から集計した。

現在耕作している人は、専業、兼業併せて 59%であった。年代別で見ると、階段状に分布しており、若い経営者が特に少ない。

(2) あなたの農業の引き継ぎ手はいますか。

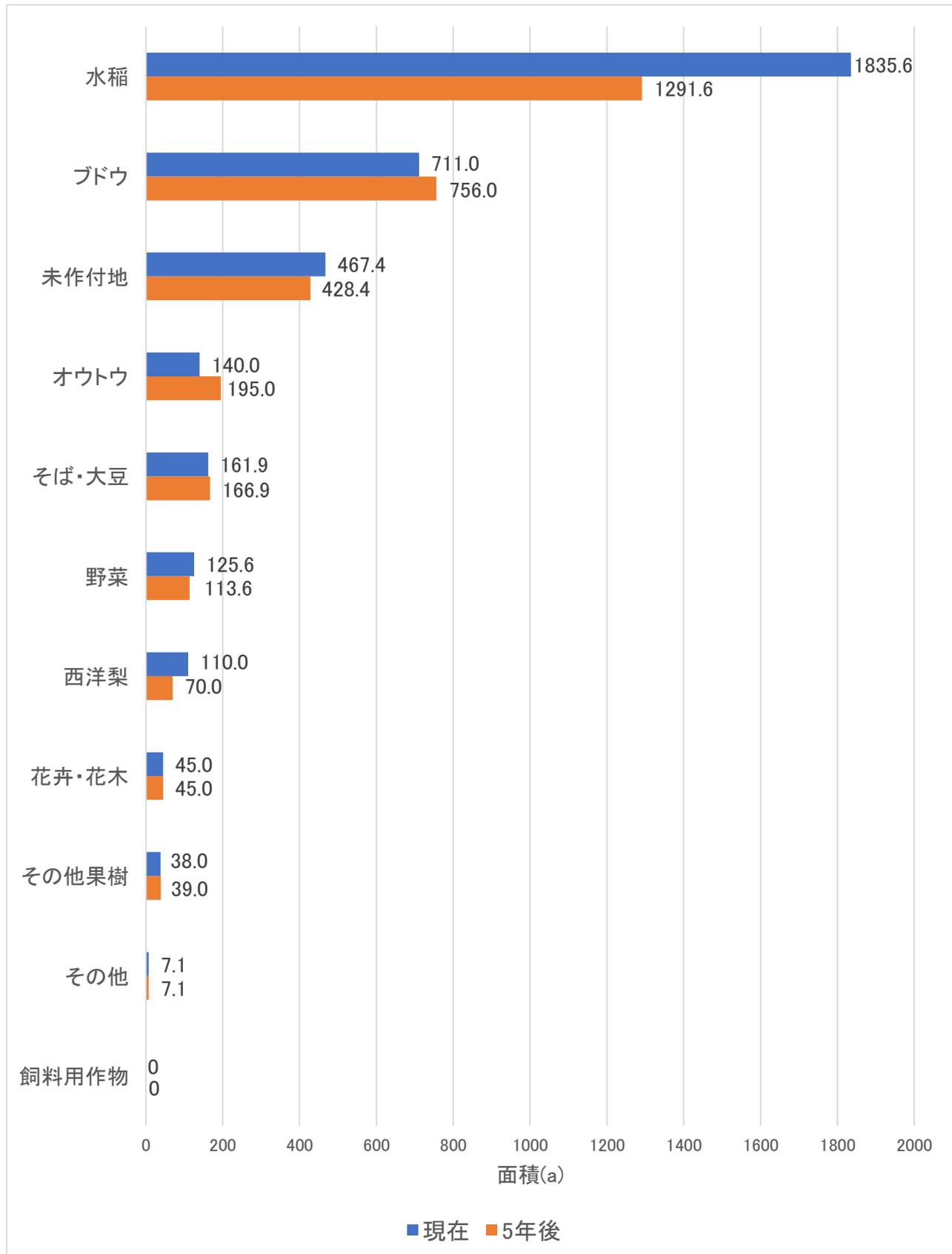


(2) 後継者年齢分布図(単位:人)



回答者の約7割は後継者がいないと回答。地区の後継者は特に不足しているといえる。

(3) あなたの現在と将来の農業構成を教えてください。(グラフ数値は地区全体の合計面積(a))



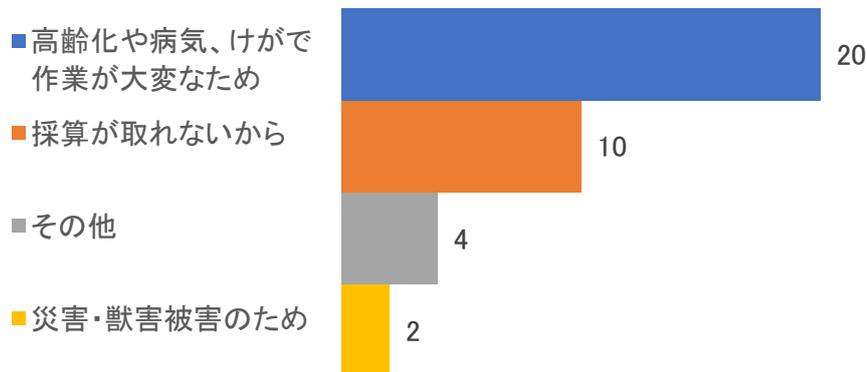
アンケートの結果では、地区全体で15%の農地を縮小したい意向であった。減少面積が特に大きいのは水稲で現状から3割(544a)減少する見込み。

(4) (規模拡大したい方へ)規模拡大の方法はどのようにお考えですか。(複数回答可。単位:人)



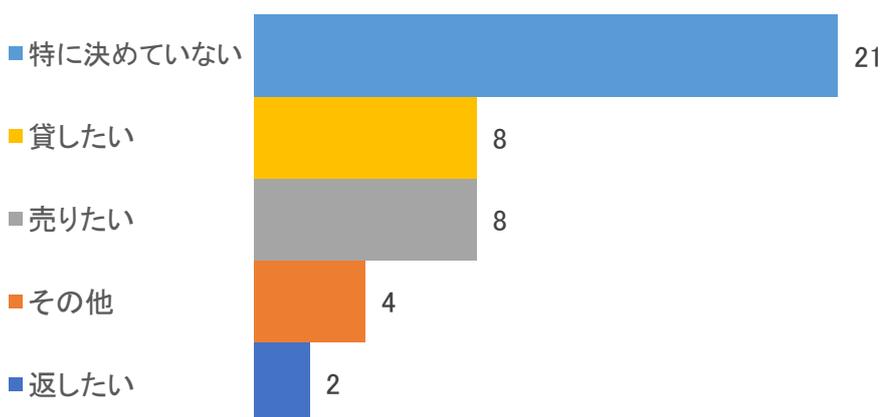
その他記載欄…  
 「非耕作地にぶどうを広げる」  
 「休耕田を利用する」  
 「施設を拡大」

(5) ①(栽培をやめたい、縮小したい方へ)理由は何ですか。(複数回答可。単位:人)



その他記載欄…  
 「手が回らない」  
 「現在頼んで農作業をしてもらっている人も、加齢が進むため」

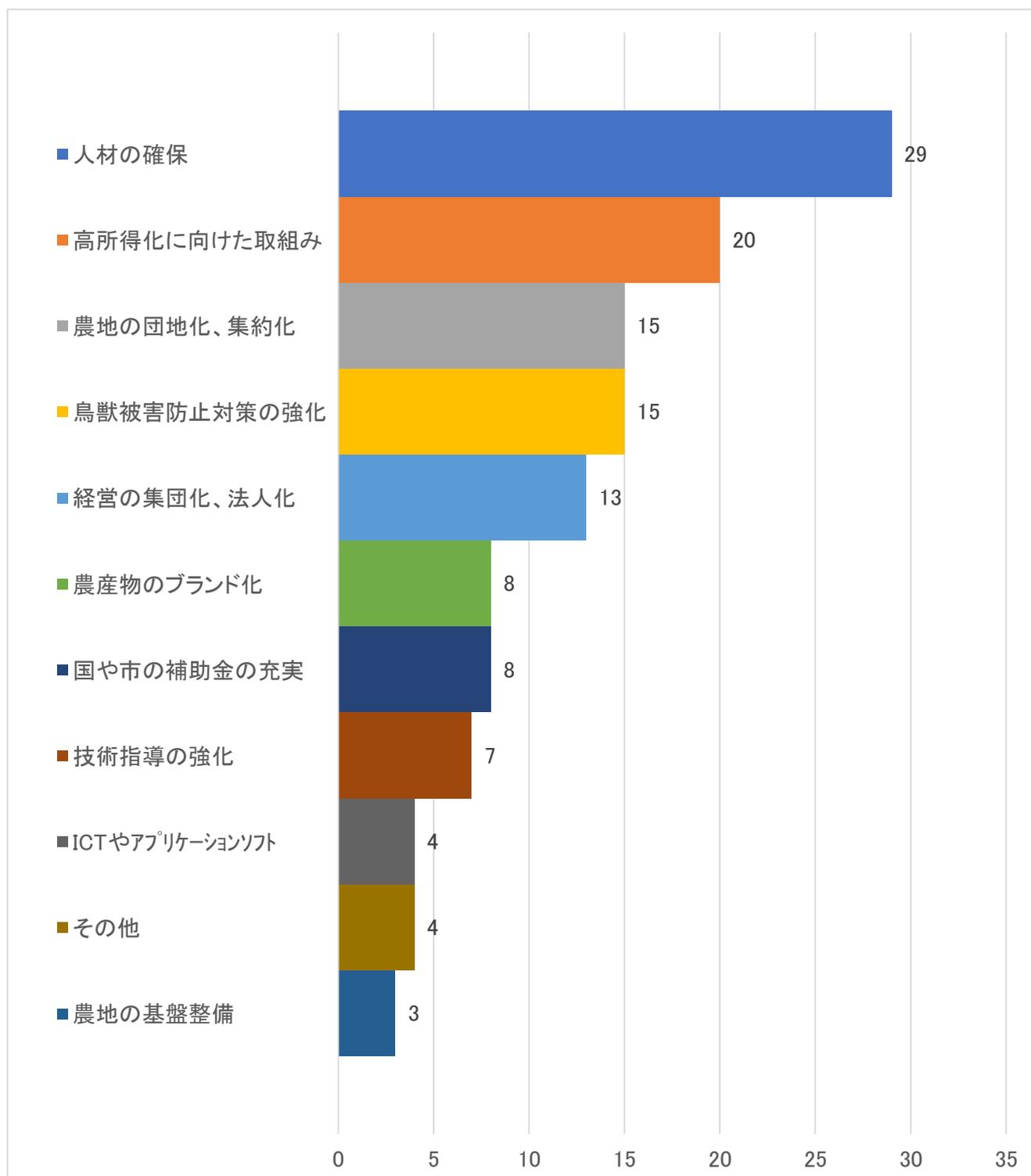
(5) ②(栽培をやめたい、縮小したい方へ)栽培をやめた、あるいは規模を縮小したあと、農地はどうしたいですか。(複数回答可。単位:人)



その他記載欄…  
 「宅地化したい」  
 「桜等景観形成作物を植える」  
 「果樹伐採の上遊休化」

規模縮小したい理由として、高齢化や傷病など身体的な理由のほか、採算性や人手不足の問題を挙げる人が多い。また、栽培をやめた農地の用途については特に決めていない人が最も多く、回答の約半数を占める。

(6) 今後の地域農業のために、何が必要だと思いますか。(複数回答可。単位:人)



今後の地域農業に必要なものとして「人材の確保」のほか、「高所得化に向けた取組み」の必要性を感じている人が多い。